

上杉謙信

越後の龍(りゅう)！



はたにかかけるのは、「毘」の一字。戦

いのかみさま「毘沙門天」をしんじて戦い、

「軍神」とおそれられたのが、越後の国(今

の新潟県)の上杉謙信です。子どものころは

お寺で学び、心をきたえました。

謙信は、武田信玄と川中島の戦いで五回も

戦いました。二人は力が同じくらいで、な

かなかしうぶがつきませんでした。

あるとき、信玄の国でしおが手に入らなく

なり、人びとがこまっていました。それを知

った謙信は、てきなのに信玄へしおをおくつ

てたすけました。この話は「てきにしおをお

くる」ということばとして、今も語りつがれ

ています。

正しいと思うことをつらぬく謙信の生き方

は、多くの人にあいされています。

せんたく(1)

謙信は何とよばれていましたか？
えらんで○をつけましょう。

① 軍神

② 大うつけ

③ 独眼竜

せんたく(2)

謙信がしおをおくったあいてはだれでしょうか？
えらんで○をつけましょう。

① 徳川家康

② 武田信玄

③ 織田信長

きじゅつ(1)

謙信が信玄と五回も戦った戦いは何でしょうか？

きじゅつ(2)

謙信は、子どものころ、どこで学びましたか？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1) はな

(2) つみ

(3) あおぞら

こたえ

上杉謙信
うえすぎけんしん

せんたく

(1) ①

(2) ②

きじゅつ

(1) かわなかじまのたたかい

(2) おてら

かん字

(1) 花 はな

(2) 海 うみ

(3) 青空 あおぞら